

Vocal

君といつまでも

岩谷時子 作詞
弾厚作 作曲

ふたりをゆやみがつつむこのまどべ
にあしたもすばらしいしあわせがくるだ
ろきみのひとみはほしとかがや
きこいする—このむねはほのおと—もえてい
るおおぞらそめてゆくゆうひいろあせて
もふたりのころはかわらないいつまでも

ふたりを夕やみが つつむこの窓辺に
あしたもすばらしい しあわせがくるだろう
君のひとみは 星とかがやき
恋するこの胸は 炎と燃えている
大空そめてゆく 夕陽色あせても
ふたりの心は変わらない いつまでも

(セリフ)

「しあわせだなあ
僕は君といる時が一番しあわせなんだ
僕は死ぬまで君をはなさないぞ
いいだろう」

君はそよかぜに 髪を梳かせて
やさしくこの僕の しとねにしておくれ
今宵も日が昏れて 時は去りゆくとも
ふたりの想いは変わらない いつまでも

お嫁においで

岩谷時子 作詞
弾厚作 作曲

もしもこのふねできみのしあわせ
みつけたら — すぐにかえるからぼく
のおよめにおいで — つきもなく
さびしい くらいよるも — —
ぼくにうたうきみのほほえみ
— — ふねがみえたならぬれ
たからだでかけてこい — さんごで
こさえたあかいゆびわあげよう — —

もしもこの舟で 君の幸せ見つけたら
すぐに帰るから 僕のお嫁においで
月もなく淋しい 闇い夜も
僕にうたう 君の微笑み
舟が見えたなら ぬれた身体で駆けてこい
珊瑚でこさえた 紅い指輪あげよう

もしもこの舟で 君の幸せ見つけたら
すぐに帰るから 僕のお嫁においで
波も夢を見てる 星の夜は
僕にゆれる 君のささやき
舟が見えたなら ぬれた身体でとんでこい
空へ抱きあげて もえるくちづけしよう

Vocal

夜空の星

岩谷時子 作詞
弾厚作 作曲



ぼく の ゆく と ころ へ — ついておいでよ — よぞらにはあ
までも ふ たり で — あるいてゆこう — こい び と よ そ



んなに — ほし が ひか る どこ ひいてあげよう —
の て を —



やくそく しょう づな ぎ あった ゆび は はな



さない と なか ない で き み に は — ぼく が いる ぜ



— なみ だ な ん か ふいて — わらってごらん

僕のゆくところへ ついておいでよ
夜空にはあんなに 星がひかる
どこまでも ふたりで歩いてゆこう
恋人よ その手をひいて上げよう
約束しよう つなぎあった指は
はなさないよ
泣かないで 君には僕がいるぜ
涙なんかふいて 笑ってごらん

僕のゆくところへ ついておいでよ
夜空にはあんなに 星がともる
どこまでも 二人で愛してゆこう
恋人よ 幸せ僕が上げよう
約束しよう 君とだいた夢は
わすれないよ
僕のゆくところへ ついておいでよ
夜空にはあんなに 星がうたう

ぼくの妹に

岩谷時子 作詞
弾厚作 作曲

ぼく の いもーうと な ら あーいひとーすじ に
いーきぬーいて おーくれ ひとりのーひと に ちい
さいころ ぼく を したって かけてきたーきみ よ それ
がこのごろ ぼく もまぶしいーう つーくしいむすめ さ なみ
だ うかーべな が ら うーちあけーたこ い
ぼーくがーつい て いるよ しあわせになろ う

僕の妹なら 愛ひとすじに
生きぬいておくれ ひとりの人に
小さい頃僕を慕って かけてきた君よ
それがこの頃 僕もまぶしい美しい娘さ
涙浮かべながら うちあげた恋
僕がついているよ 幸せになろう

愛するとは 信じることさ 君ならばできる
どんな時にも やさしいまごころなくてはいけない
そばにいなくなれば 淋しいけれど
僕はただ君が 幸せならいい